

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1164】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 人権教育指導体制充実事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	人権教育課
	項	01	教育総務費		
	目	03	教育振興費	連絡先	0594-24-1192
	細目	009	学校人権教育推進事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
市内幼・小・中学校教職員 市内幼・小・中学校の園児・児童・生徒	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○人権教育に関する研修会等を実施 ・職階層別研修会の実施 ・教職員の全国規模の研究大会への参加 全国人権・同和教育研究大会(長野県)、三重県人権・同和教育研究大会(四日市市・三重郡)、部落解放研究三重県集会(津市) ・北勢地区人権同和教育研究協議会(桑名市・四日市市) ・人権教育推進計画実践集録の配布 ・人権フォーラムくわな(児童生徒が学び、考えたことを話し合い、交流する会)の実施	教職員の人権教育研修に関わる内容のため。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
幼稚園、小・中学校において、人権教育の実践を主体的にすすめ、いつでもどこでも人権問題が当たり前話され、市内に人権文化が構築されている。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市内幼・小・中学校教職員数	人	885	878	866	870	
	市内幼・小・中学校の園児・児童・生徒数	人	12,847	12,544	12,402	12,387	
活動指標	研修講座・研修会の開催回数	回	21	21	24	21	
	人権フォーラムくわな実行委員会開催回数	回	12	12	12	12	
成果指標	人権フォーラム前後校内での話合いを実施した小・中学校数の割合	% 目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	
		% 実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	
投入コスト	事業費計			4,006	4,061	3,283	3,527
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		4,006	4,061	3,283	3,527
	所要人員(正職員)	人工	3.04	1.73	1.62		
所要人員(嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	21,198	12,247	11,076			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

ここ数年退職により、経験年数の少ない教職員の割合が増えている。これまで積み上げてきた人権教育の実践を若い世代に継承していくために、人権教育研修のさらなる充実を図る必要がある。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1163】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 人権教育推進事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	人権教育課
	項	01	教育総務費		
	目	03	教育振興費	連絡先	0594-24-1192
	細目	009	学校人権教育推進事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市同和教育研究推進協議会 (教職員、行政職員、その他の会員)	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○人権教育研究団体への補助金を交付する。 会員一人ひとりが子どもたちや地域の実態を把握し、差別を解消するための研究や実践を行う。それらを協議し、人権教育の推進に役立てる。 ・研究部会・研究大会・研修会等の開催 ・機関紙・資料の発行等の啓発活動	学校における人権教育の推進に関わる内容のため
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
・教職員等の人権教育に関する研修を充実させ、授業および業務を通して、子どもや保護者・地域の人々へと教育・啓発を広げていく。 ・子ども及び教職員等の人権感覚を磨き、差別のない明るいまちづくりにつなげる。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	補助対象団体数	団体	1	1	1	1	
	補助金団体構成数	人	926	916	906	900	
活動指標	補助金額	千円	1,000	800	800	800	
成果指標	研究大会・研究会・研修会の開催運営回数	回	目標値 75 実績値 80	75 83	75 82	75	
	研究大会・研究会・研修会の参加人数	人	目標値 900 実績値 926	900 916	900 906	900	
投入コスト	事業費計		1,418	1,464	2,067	1,036	
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金				598	
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		1,418	1,464	1,469	1,036
	所要人員 (正職員)	人工	1.03	0.69	1.22		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	7,182	4,885	8,341			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充 ○ 休止廃止
- 現状維持 ○ 見直し
- 縮小

・差別意識は依然として存在しており、市民への啓発はさらに必要である。また差別をなくす主体者を育てる観点で、学校での人権同和教育の推進は大変重要であり、そのため教職員のさらなる人権意識の向上や人権同和教育の実践力の向上が必要である。
・教育現場のニーズに合った研究内容の設定をし、教職員のさらなる人権意識と実践力の向上を図る。また、行政職員が中心となっている、社会啓発部会をより実践的なものとなるよう改善を図る。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1397】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目03 同和教育副読本「あゆみ」資料編集事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	人権教育課
	項	01	教育総務費		
	目	03	教育振興費	連絡先	0594-24-1192
	細目	009	学校人権教育推進事業費		

事業の概要 (事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)	
対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか) 市内の小・中学校の児童・生徒	公民連携の前進 公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順) ○桑名市の人権教育のあゆみを伝えるため、近・現代の資料をもとに、小中学生を対象とした同和教育副読本を作成する。 ・小学校版、中学校版、各一冊ずつ学識経験者監修のもと編集執筆。初版2000年3月、現在第17版。 ○「あゆみ」の活用状況調査・報告を実施。	理由 学校における同和教育実践に関わる内容のため
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか) いじめや差別を無くそうとする意欲や実践力を育て、部落差別をはじめとするあらゆる差別を解消するために主体的に行動できる市民を育てる。すべての学校で「あゆみ」が活用される。	

事業活動と成果 (上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)							
区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市内小中学校数	校	36	36	36	36	
	市内小・中学校児童・生徒数	人	12,260	12,009	11,840	11,855	
活動指標	副読本配布数	部	3,050	3,010	3,030	8,800	
成果指標	授業で活用した学校数	校	目標値 36 実績値 36	36 35	36 34	36 36	
	人権・同和教育副読本「あゆみ」を活用した割合	%	目標値 100.0 実績値 100.0	100.0 97.0	100.0 94.4	100.0	
投入コスト	事業費計		441	435	432	2,570	
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源	441	435	432	2,570	
		所要人員 (正職員)	人工	0.14	0.13	0.40	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円	976	920	2,735		

進捗評価 (事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)	
成果は計画どおりにあがっているか。 <input type="radio"/> あがっている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> あがっていない H28年度の方角性 <input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 休止廃止 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小	同和教育副読本「あゆみ」の改訂を実施。来年度から新教材を活用して実践するための指導資料の作成や周知研修会、活用のための研修会等を計画する必要がある。